

第48期（2022年4月期）第3四半期
決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

2022年3月11日

美しくを、変えていく。

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイデアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

業績ハイライト

《トピックス》

➤ **売上高 316億円**

➤ **営業利益 60億円、経常利益 62億円、純利益 42億円**
第3四半期累計期間では、いずれも過去最高

➤ **営業利益率 19.0%**

第2四半期累計期間からさらに0.2ポイント向上
目標とする20%にはわずかに及ばなかったものの、依然
として非常に高い水準を維持

※製造業の平均は3.6%（2020年経産省企業活動基本調査）

(百万円)

	第46期 第3四半期 2019年5月1日 ～ 2020年1月31日	第47期 第3四半期 2020年5月1日 ～ 2021年1月31日	第48期 第3四半期 2021年5月1日 ～ 2022年1月31日	【ご参考】 第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日
売上高	17,285	28,507	31,683	36,631
営業利益	2,291	5,443	6,007	6,116
営業利益率 (%)	13.3%	19.1%	19.0%	16.7%
経常利益	2,208	5,279	6,267	6,104
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,212	3,101	4,264	3,727
1株当たり当期純利益 (円)	21.67円	56.37円	77.51円	67.75円

セグメント情報

《トピックス》

➤ 国内は各販路それぞれが底堅い売上を計上

- 通販部門・店販部門は総じて堅調
- 直販部門は大きく売上を伸ばした前年同四半期にはわずかに及ばなかったものの、好調を維持

➤ 海外は中国で更に大きく伸長

- 第3四半期に入っても、中国向け販売は売上・利益ともに大きく伸長
- その他の国の立ち上げも順調に進捗
- ロシア情勢の業績への影響は、僅少の見込み

売上高

(百万円)

	第46期 第3四半期 2019年5月1日 ～ 2020年1月31日	第47期 第3四半期 2020年5月1日 ～ 2021年1月31日	第48期 第3四半期 2021年5月1日 ～ 2022年1月31日	【ご参考】 第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日
通販部門	3,299	3,842	3,983	4,948
店販部門	5,871	5,653	6,743	7,605
直販部門	3,927	9,532	8,828	12,059
海外部門	3,379	8,534	11,147	10,997
その他	807	944	979	1,019
合 計	17,285	28,507	31,683	36,631

営業利益

(百万円)

	第46期 第3四半期 2019年5月1日 ～ 2020年1月31日	第47期 第3四半期 2020年5月1日 ～ 2021年1月31日	第48期 第3四半期 2021年5月1日 ～ 2022年1月31日	【ご参考】 第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日
通販部門	1,298	1,606	1,673	1,997
店販部門	1,985	1,635	2,104	2,003
直販部門	1,508	4,565	4,487	5,982
海外部門	1,031	2,583	3,762	3,012
その他	-80	32	427	△31
調整額 (※)	△3,453	△4,980	△6,447	△6,847
合 計	2,291	5,443	6,007	6,116

(※) 調整額は開発部門・管理部門等の全社に共通する費用です。

財務ハイライト

《トピックス》

➤ 棚卸資産が増加

- 昨今の電子部品の供給不足に対応し、入手性が悪い部品を中心に十分な原材料在庫を確保して、安定的かつ計画的な生産体制を構築

➤ 手許資金を確保

- 中期経営計画達成に向けて、積極的な広告投資をはじめとする機動的な経営戦略を実行できるよう、一定水準の手許資金を確保

(百万円)

	第46期 第3四半期 2020年1月31日	第47期 第3四半期 2021年1月31日	第48期 第3四半期 2022年1月31日	【ご参考】 第47期 2021年4月30日
総資産	17,459	24,724	28,592	25,855
純資産	13,827	16,264	20,720	16,893
自己資本比率 (%)	79.2%	65.8%	72.5%	65.3%
現預金	8,406	10,838	13,416	12,957
売上債権	3,134	5,156	5,443	4,000
棚卸資産	2,425	3,807	5,076	3,692
仕入債務	1,439	2,693	2,385	2,600
有利子負債	594	2,617	2,128	2,607

製品カテゴリ情報

《トピックス》

➤ ミーゼブランドが売上を拡大

CM効果もあってブランド認知が高まり、全体的に好調

➤ 新製品がヒット

光美容器レイボーテシリーズの日本初の防水VIO対応機種や、フォトスチーマー、水流式の口腔洗浄機（ウォーターピック）などの新製品がヒット

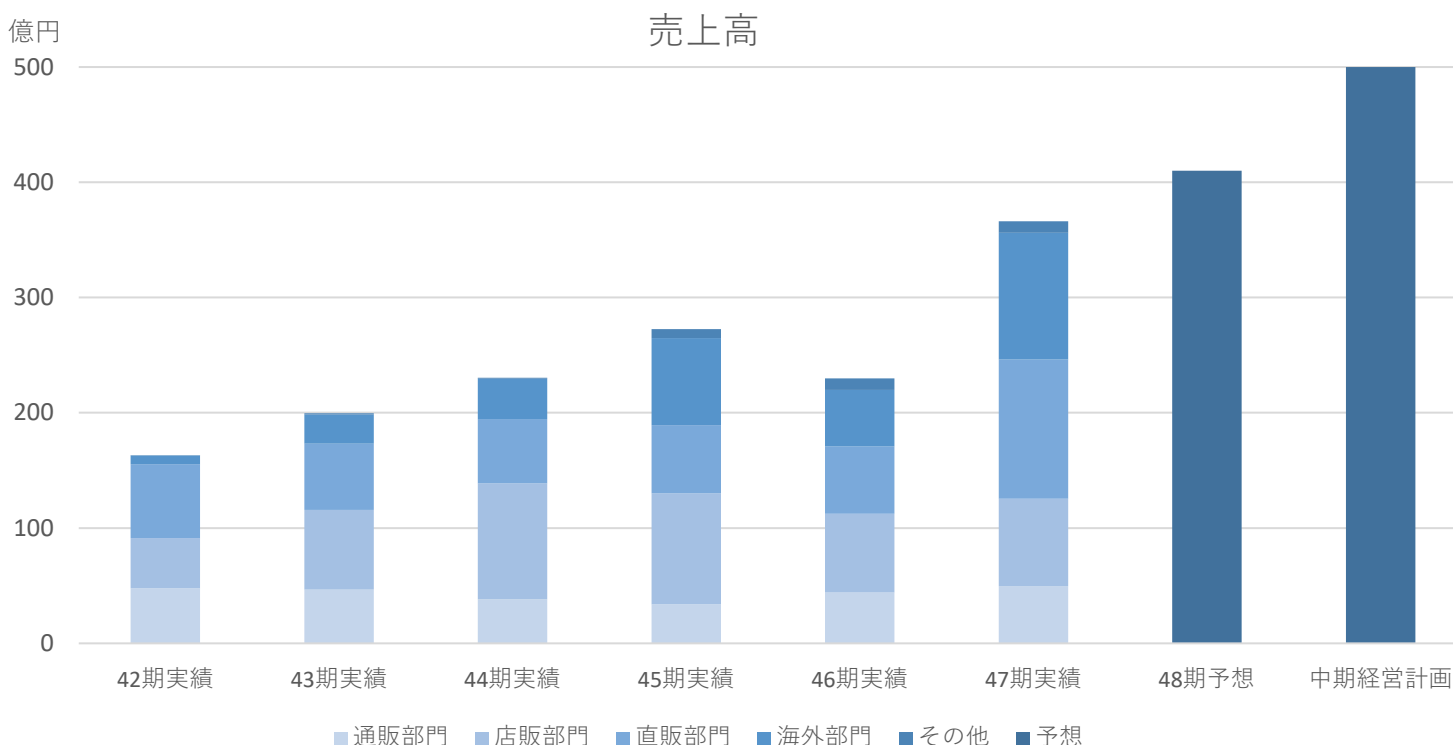
➤ 機能性化粧品は引き続き好調を維持

美容機器と併用したり、美容機器との相乗効果を狙った化粧品が好調

業績予想

➤ 通期予想 売上高410億円、営業利益70億円

各施策が奏功し、業績拡大が進んだことから、2022年3月11日に従来予想を上方修正いたしました。



配当政策

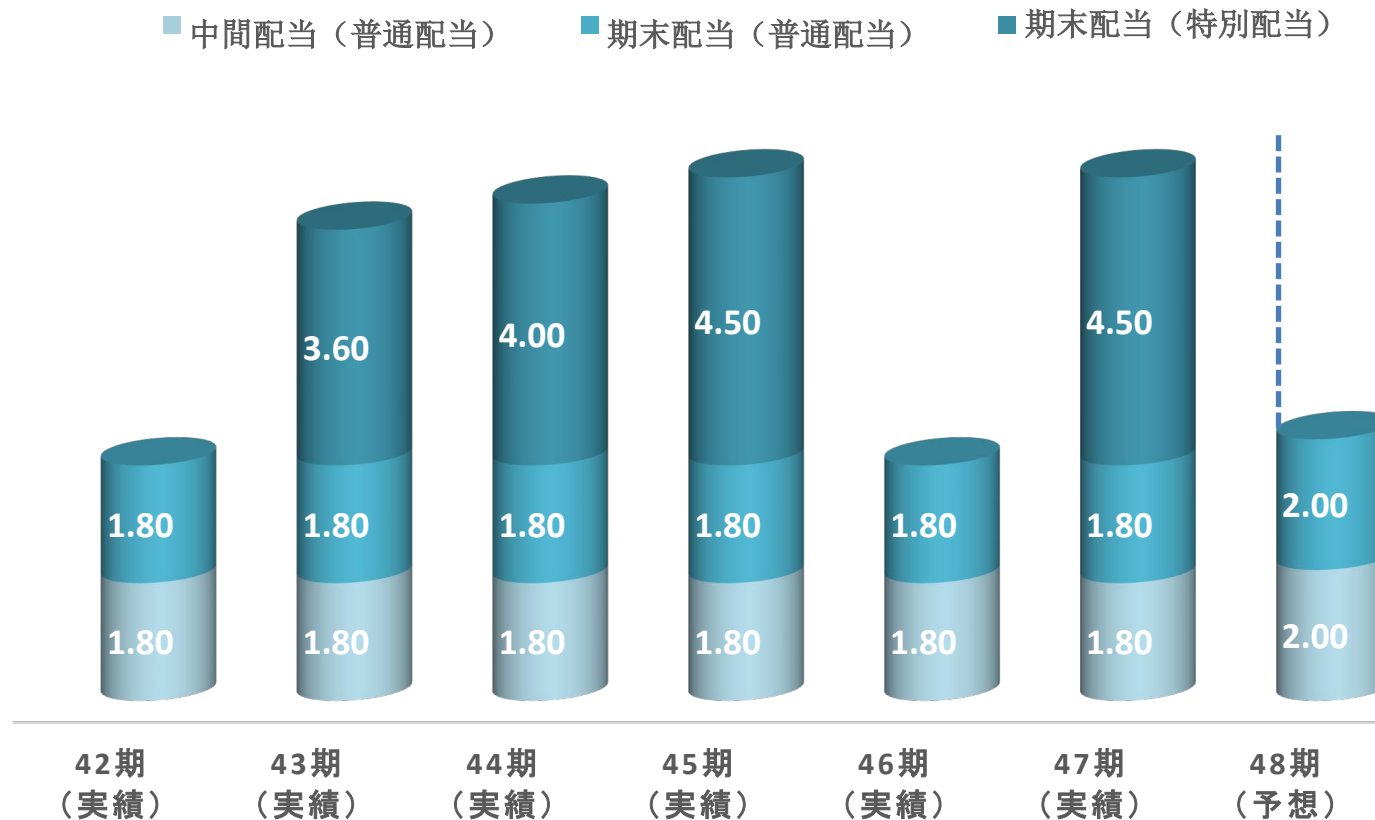
➤ 普通配当額の見直し 年間3.6円→4.0円

当社は毎期安定的・継続的な配当を基本原則としております。

長らく中間1.8円・期末1.8円、年間3.6円の普通配当額を堅持してまいりましたが、今期からこの水準を底上げし、中間2.0円・期末2.0円、年間4.0円といたしました。

➤ 期末配当は通期決算発表時に同時発表予定

期末配当については、通期の業績等を勘案し、最終的な金額を決定して発表する予定です。



（注）上記金額は、2017年11月1日付の株式分割の影響を加味したものです。

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。